

社会(ごみの減量とリサイクル)から外部とつながる総合へ

～ペットボトルのリサイクルを通じて社会の課題・SDGsについて考える～ 繰り返し関わる出前講座のご紹介



1 実施者

公益財団法人横浜市資源循環公社

2 目的

私たちの日常生活に多く使われているペットボトルは、分別ルールが徹底できていない状況があります。子どもたちにペットボトル(資源)が再生されて製品になることを経験してもらい、リサイクルの大切さや分別の重要性を理解してもらいます。また、学習を通して理解したことを子どもたち自身で「伝える方法」を考えて学校、家庭及び地域に発信する行動へ導くものとしします。

また、子どもたち自身の行動がどのようにSDGsにつながっているのか、環境に焦点を当てて、子どもたちと一緒に考えます。

3 出前講座内容

(本講座の実施方法は基本1回ですが、ご要望によって2回授業にするなど講座回数は調整・変更が可能です。)

(1) 対面方式

ア 授業内容 45分×2コマ

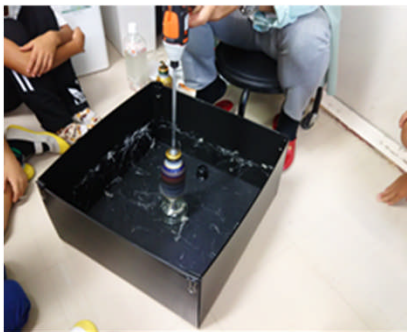
1コマ目 3R講座

2コマ目 ペットボトルに焦点を当てた講座

- ・ペットボトルの処理の流れを説明
(収集→選別→再資源化事業者へ引渡し)
- ・ペットボトルを繊維状(糸)にする実験(リサイクル実験)
※アルコールランプを使用します
- ・環境マークから考えるSDGs



実験を通じ、ペットボトルをリサイクルするためには分別することが大切であることを実感してもらいます。100%分別を目指し、どうすればよいか子どもたち自身で考えてもらいます。



イ 総合に発展した場合 45分×1コマ

過去の活動例：子どもたちが集めた量に相应するペットボトル再利用品マーク付繊維の交換
子どもたちの行動計画の発表・質疑応答

※民間事業者様(全国清涼飲料連合会様、飲料メーカー様など)の講座もご要望により、受講いただけます



- (2) オンライン方式 ※Zoomで教室と公社会議室をつないで講座を行います
 授業内容 45分×2コマ
 内容例
 横浜市の現状→3R・ペットボトルのリサイクル→ペットボトル処理工程動画視聴→
 比重分離製作※1→ペットボトルリサイクル実験動画視聴→環境マークから考えるSDGs

オンラインでも楽しく学べる工夫をしています！



伝わっているか確認しながら、ゆっくり進めます！
 動画視聴もあります！



ペットボトルはなぜ正しい出し方で出さなければいけないの？
 水を入れてもらい、目で見て確かめてもらいます！

4 実施条件（実施方法についてはご相談ください。）

(1) 対面方式

ア 対象人数：1校につき1～2クラス程度の人数

イ 経費：無料

ウ 1回目授業のリサイクル実験はアルコールランプを使用します。理科室等をご用意ください。

エ 実施校数20校（※日程調整のうえ実施可否を決定させていただきます）

(2) オンライン方式

Zoomでの通信環境を実施前にテストさせていただきます。通信環境が整っていない場合は、弊社のノートパソコン・ポケットWi-Fiを貸し出すことも可能です。ご相談ください。

ご興味がある方は下記をご記入の上、FAXにてお申込みください

FAX：045-223-2027 福井宛

学校名						
ご担当者	学年：	お名前：				
連絡先	TEL：					
	E-Mail：					
ご希望の受講方法	<input type="checkbox"/> 対面方式	<input type="checkbox"/> オンライン方式				
お打合せ希望日	第一希望日	月	日（ ）	：	～	：
	第二希望日	月	日（ ）	：	～	：
	第三希望日	月	日（ ）	：	～	：

連絡先・担当

(公財)横浜市資源循環公社 担当：総務課企画係 原田・福井

TEL045-223-2021 FAX045-223-2027 Email：fukui@shigenkousha.or.jp